

インナー大会プレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）センシュウダイガク	フリガナ）ケイザイガクブ	フリガナ）モチツキ
専修大学	経済学部	望月ゼミナール

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ）モチツキ	フリガナ）ナカハラマユ	8人	無
望月ゼミナール	中原茉優		

研究テーマ（発表タイトル）
環境投資を考えよう！

※必ず＜企画シート作成上の注意＞を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

地球温暖化防止へ向け Cop21 を日米が批准するなど国際的に環境問題への関心が高い中で日本国内では環境問題に対してどのような取り組みをしているのか調べた結果、環境問題への取り組みが十分に行われておらず二酸化炭素排出量削減にも貢献できていないことが分かった。その大きな要因として日本では環境問題への取り組みが直接的な企業への利益につながる仕組みができていない現状があるということが挙げられる。海外ではCSRの一環として環境問題への取り組みを重要視する動きが出てきている。しかし、そうした中で前述のように日本では環境問題への取り組みが活発ではない。本研究では日本国内での特に企業を対象に環境問題への取り組みをより活発化させるような政策を提案する。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

地球温暖化問題に人類は長らく取り組んできたが、先進国がこれまでの地球温暖化を進めたとして1992年のリオサミットから「先進国が二酸化炭素の削減責任を持ち、途上国には責任は問われない」という対応が2014年のCOP20まで取られてきた。BRICs など途上国の中にも急速に経済発展がすすむ国が出てくるにつれ、「先進国＝排出量が多い」「途上国＝排出量少ない」という式は成立しなくなってきた。例えばBRICsの中心国である中国を見ると二酸化炭素排出量は先進国アメリカを超える。2015年度に成立したパリ協定(COP21)では実質的な排出量ゼロへ向けて、全ての国が排出量削減目標を作り、提出することが義務付けられ、その達成のための国内対策をとることも義務付けられた。現在、パリ協定が成立したこともあり、全世界でより一層の地球温暖化対策への努力が求められている。

3. 研究テーマの課題

環境問題に取り組むことで、企業が投資してもらえる仕組みがない。環境問題に取り組むことで企業へは大きなメリットがない。つまり環境問題へ取り組むインセンティブがない。故に環境問題への取り組みも諸外国に比べ日本企業は環境問題に対して、取り組みたくはないがやらなければ企業信用を落としてしまうためやむなく行うもの・コストとして捉えてしまいがちである。よって環境問題に対する取り組みをすることで国内から投資を得られると同時に海外からも投資を得られるような仕組みが必要である。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

- ・CSR の規格の統一化（GRI へ）
- ・年金機構等の公的機関による投資

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

統計によるデータ分析によって、課題解決策が有効であるのかどうかのエビデンスを準備する。

データ分析の項目は

- ・GRI が「全体の投資量に対する海外資本の割合」に与える影響

6. 結果や今後の取り組み

研究を通して GRI が全体の投資量に対する海外資本の割合に影響を与えており、海外が GRI をある程度、重視して投資を行っていることが明らかとなった。GRI を日本企業がより重視していくことで国際的なアピールにつながり、海外からの投資を増やすことができる。ローカーボン投資に関しては二酸化炭素排出量を抑えることで国内の年金機構等の公的機関から投資を得ることが期待できる。今後、GRI をより普及させること、国内に対しては GRI に対して国内の投資家が関心を持つために年金機構が環境問題に取り組んでいる企業への投資が必要である。

7. 参考文献

- ・日経テレコン 企業情報
- ・R で学ぶデータ・プログラミング入門 2012 著：石田基広 出版：共立出版
- ・環境省 環境白書
- ・日経ビジネス
- ・気候変動政策のダイナミズム 2015 著：新澤秀則、高村ゆかり 出版：岩波書店

インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となります。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、3 ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。